

感謝の気持ちを胸に二十歳の抱負

このたび二十歳という節目を迎えることができ、とてもうれしく思います。それと同時に大人の仲間入りを果たし、責任の重さを自覚し、身が引き締まる思いです。

私は現在、津奈木町を離れ、高校で勉強した電気関係の仕事に就いています。実際に働き始めたからこそ分かる喜びもあれば、社会の厳しさを痛感することもある。そんな日々を送っています。まだまだ未熟者ですが、自覚と責任感のある大人になれるよう頑張ります。

今の私があるのはこれまで育ててくれた両親や苦楽を共にした友人、お世話になった先生方、いつも温かく見守ってくださった地域の人ののおかげです。本当にありがとうございます。



新立 颯さん (大泊)



山下 里歩さん (町中)

この20年を振り返って感じるのは、出会った多くの人への感謝の気持ちです。何か大きな節目を迎えるたびに「私は人に恵まれている」と感じます。特に担任の中村先生は私にとっての目標で、先生への尊敬から自分も教員になることを決意しました。

現在、県内の大学で養護教諭を目指して勉強に励んでいます。子どもたちに寄り添い、学校生活を心から楽しんでもらえるような働きかけができる先生になりたいです。そして、お世話になった先生方と教員として再会できたらいいなと思います。

最後に、愛情たっぷり育ててくれたお父さん、お母さん、じいちゃん、ばあちゃんありがとう。山下家に生まれて幸せです！

このたびは、私たちのためにこのような素晴らしい式典を開いていただき、心から感謝しています。また、多くの人に支えられながら、無事に二十歳を迎えられたことをうれしく思います。これからは1人前の社会人としての責任と自覚をもって、何事も頑張っていきたいと思っています。

現在私は鹿児島大学教育学部で、中学生の頃から夢だった教員になるために日々学業に励んでいます。勉強は大変ですが、1つでも多くのことを学び、熊本で立派な教員になれるよう頑張りたいです。

私がここまで成長することができたのは、家族や友人、先生方など多くの人の支えがあったからです。感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたいと思っています。



雑賀 大賢さん (竹中)



山下 朱音さん (内野)

たくさんの人に支えられ、二十歳を迎えられたことをうれしく思います。小中学校、長い人とは保育園から付き合いがある友人たちの素敵な姿を見ることができて幸せです。このような機会を設けてくださった関係者の皆さま、家族のように見守ってくださった地域の人にもこの場を借りて感謝申し上げます。

20年間、さまざまなことがありましたが、たくさんの愛情を注いで育ててくれたお母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、いっぱい喧嘩した妹へ。私の夢を応援してくれて本当にありがとうございます。ちょっと恥ずかしいので面と向かってはまだ言えてないですが、夢をかなえて恩返しするので、もう少しだけ待ってください。

成人者一覧 (敬称略)

町中 雑賀大賢 **浜崎** 永田敦也 **桜戸** 浦口留愛 下村百佳 武内飛鳥 丸山優 吉本明伽音
中 川崎浩雅 川崎茉奈夏 賤部楓 村上隼飛 山下里歩 **新川** 秋元隆貴 丸山球真 **古川** 佐藤友里愛 谷内未蘭 吉野佑汰 **大泊** 新立颯 **中尾** 農山青 **古中尾** 田口舞 **内野** 山下朱音 **上**
下門 伊藤玲未 竹本悠那 宮脇快青 山口央心 **福浦** 福山祥英 福山優花 **平国下** 開田優也
日当 伊藤虹絵 開田拳斗 吉開智葵 **丸岡** 梅津露志 江崎さつき 大石葵 岡本麻由 篠原亜由美 新立龍真 山川渚紗



Go back in time

20年前の出来事

【日本・世界の出来事】

北朝鮮が核施設の再稼働を宣言／日韓サッカーW杯で日本が初のベスト16

【津奈木町の出来事】

「津奈木隧道」が国の文化財に指定／つなぎ文化センター前に彫刻「たわむれの塑像」を設置

【写真説明】

1. 友人たちと晴れ姿で思い出に記念撮影／2. これまでの感謝とこれからの抱負を述べる村上さん／3. 恩師と再会し、会話が弾む／4. 華やかな着物やスーツ姿で式典に出席／5. 新型コロナウイルス感染防止のため、出席者は体調管理シートの提出や検温、消毒を徹底／7. お世話になった恩師たちと記念にパシャリ／8. 祝福の言葉を贈る担任の中村俊介先生



1月3日(火)、つなぎ文化センターで開かれた令和5年津奈木町二十歳の集い。会場には二十歳を迎え、凛としたスーツ姿や色鮮やかな振袖に身を包んだ若者たちが集まりました。ことしは平成14年4月2日～平成15年4月1日に生まれた38人が対象。

式典では山田町長が「この先、さまざまな壁にぶつかることもあり。その度にこの町で過ごした思い出や家族、友人などの励ましを胸に、夢と希望に向かって前進してもらいたい」とあいさつ。中学時代の校長や恩師も駆けつけ、思い出を振り返りながらお祝いと激励の言葉が送られました。生徒会長を務めた村上隼飛さん(町中)は、「今までたくさんの人に支えられてきました。親元を離れ、就職した私は両親のありがたみを特に感じています。人との関わりを大切し、これからは自分が誰かの支えになれる社会人を目指し、日々精進していきたいです」と未来への決意とこれまで支えてくれた人々への感謝を述べました。